

泌尿器科

研修の目標

高齢者人口の増加に伴い、排尿障害や泌尿器科悪性腫瘍患者の増加は大きな社会問題であり、今後泌尿器科一般研修はさらに重要になってくると考えられる。しかし泌尿器科の研修は短期間が予想されるため、まず基本的な泌尿器科的検査法・処置および診断につき重点的に研修を行う。さらに頻度の高い泌尿器科救急疾患に対し基本的初期対応を研修する。

研修の課程

数名の入院患者を担当し検査、診断、治療および退院までの診療を指導医と共に行う。
午前8：00および午後4：00の回診を指導医と行う。

午前8：30より12：00まで外来で指導医のもとで、以下の泌尿器科基本的検査や病歴の取り方、診察法等の手技の修得に努める。

- ①検尿、導尿法、膀胱鏡検査、尿流量検査、膀胱内圧検査
- ②泌尿器科的X線検査
- ③泌尿器科的超音波検査
- ④その他

午後1：30より泌尿器科手術の研修を行う。

- ①泌尿器科内視鏡手術（TURP、TURBT等）の準備、介助を行う。
- ②一般泌尿器科的手術の第2助手として手術全体を理解する。

症例検討、フィルムカンファレンスでのプレゼンテーションを行い、泌尿器疾患の診断・治療に対する理解を深める。

評価方法

自己評価、指導医評価を3段階で行う。